

# 田富小だより

令和5年度  
第3号  
6月28日  
田富小学校



## 運動会で見つけたもの



先月号でもお伝えした通り、今年は春の運動会を開催しました。今年度秋より仮設校舎の建設が始まること、9月の残暑を考慮してのことです。運動会開催週は、台風2号の接近と梅雨前線の活動が重なって、全国的に大雨となり、本県においても線状降水帯が発生する可能性などが出され、嚴重に警戒するほどのものとなりました。よって、予定日であった3日(土)には開催できませんでしたが、翌日4日(日)には無事開催することができました。今年の運動会が昨年と違うのは、全校縦割り競技を入れたことです。新型コロナウイルスの影響で、昨年度までの運動会では、社会的距離を

確保できるような競技、そして、近距離で大きな声を出したり、面と向かって会話したりすることがないようなものに限ってOKであったので、高学年が低学年をそばで指導しながら、声を掛け合っている競技などできる状態ではなかったのです。ところが、5月8日、新型コロナウイルスが5類に移行され、これまでの教育活動内で普通に行ってきたものができるようになったことに伴い、先述の全校縦割り競技「たけのこハリケーン」が復活したのです。

どの色組組織も6年生を中心に、勝つための計画と練習を行っていきました。5年生も来年度を見据え、6年生と共に下級生の世話をしていきました。これまであまり接触のなかった子ども達でしたが、異学年の交流が目に見えて効果を発してきました。昔からあった上下関係が生み出すものは、やはり有効でした。私が運動会で見つけたもの、一つ目は、**縦割り活動の重要性**です。さて、今年の運動会も保護者の皆さんの注目演技は、各ブロックによる表現活動であったと思います。運動会特別日課中も一番時間をかけて取り組んでいました。はじめはなかなかうまくいかなかった動きも少しずつ様になっていき、やがて体を巧みに使った素晴らしい表現活動になってきました。ブロック表現活動において、最も素晴らしいのは、集団演技としての自覚を児童ひとりひとりが持てるということです。日頃の教育活動においては、友達と考えを出し合ったり、話をしながら答えをもとめたりしていく協働的な学びは日常的にあります。写真にもあるように、どのブロックもとても素晴らしい“集団演技”を見せてくれました。私が運動会でも見つけたもの、二つ目は、「みんなでがんばろう」を意識できる**集団演技のすばらしさ**です。



本校の運動会では、全学年、リレーを行っています。1・2年生は、折り返しリレー、3年生以上



はトラックを使っただけの周回リレーとなっています。足の速さは、トレーニングだけで克服できないものもあるかもしれません。速く走れる児童もいれば、あまり速く走れない児童もいます。ですが、リレーの中で懸命に走っている姿に触れる度に、スポーツのすばらしさに心打たれるのです。走ることは運動の原点であり、すべてのスポーツに繋がる基本です。

運動会ですから、運動することをメインに据えるのは当たり

り前ですが、走るという最も基本的な運動の繰り返しによるリレーがこんなにも人々を熱狂させるのは、そのシンプルさ故なのかもしれません。1つのバトンに思いをのせ、全員で繋いでいく姿にもすばらしさを感じるのです。当日、リレーで最下位になってしまったチームの子ども達の様子を観ていました。さぞ悲しい顔をしているかなと思いきや、実

に晴れ晴れとしている顔が多く見られるのでした。それは、自分たちの力を出し切ったことの満足感だったのだと思います。私が運動会で見つけたもの、三つめは、**スポーツの素晴らしさ**です。春開催の運動会ということで、職員も苦労した部分が多くありましたが、今年の運動会も「実施してよかった」と本当に思える、教育的に意義深いものになったことを改めて嬉しく感じています。

最後になりますが、来賓でお見えになられた、市長様、市議会議員様、市教育委員様、児童の活動をたくさん見ていただき、声援を送っていただいたことにこの場をお借りして御礼申し上げます。また、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様、たいへん多くの方々に運動会を観ていただきました。ありがとうございました。来年度は、校庭に仮設校舎が建っており、今年と同じ場所での運動

会はできませんが、令和6年度も「がんばる田富小児童」を応援していただきたいと思います。



## 5・6月のニュース

■6年生は、5月13日、豊富地区で発見された「二子塚古墳」?と思われる場所へ見学にでかけました。新聞にも掲載された、県下でも最大規模の古墳です。6年生は社会科で歴史を学習しますが、自分たちの生まれ育った地にこのような実物の遺跡があるのなら、出かけて見学する価値は十分にあります。当日は、市教委の専門の方による解説もあり、大変勉強になったようです。また、6月17日には、考古博物館、風土記の丘を訪ね、あらためて縄文・弥生時代の学習をしました。当日は見学のほかに、火起こし体験や勾玉づくりも行い、楽しく有意義な見学になりました。

■5年生は、例年、総合的な学習の中で、米についての勉強をしています。その一環として、自分たちでお米を作るべく、まちづくり時習塾の名執さん御夫妻の指導のもと、お米作りをしています。6月7日は、好天に恵まれ、5年生がお田植えを行いました。田の泥でさえ苦手な児童も多い中、最初はためらっていた子ども達も、田んぼの感触を味わいながら、一生懸命に田植えに取り組みました。本校2階渡り廊下には、昭和20年代の田富町の航空写真が掲示してありますが、そこには、人家は少なく、広がる水田が写っていました。昔の子ども達であれば、田植え経験もあったと思いますが、現代の子ども達にとっては、大変貴重な体験です。こういった活動ができること自体、とても素晴らしいことであると思います。

